

Apprire

 秋田大学広報誌〈アプリレ〉

No. **51**
2016



特集

新役員紹介



●秋田大学祭・秋田大学ホームカミングデー

「秋田大学祭」は、各学部間の交流、また学生と教職員や一般市民との交流を深めることを目的として毎年実施し、学内外を問わず親しまれています。秋田大美人に相応しい女性を選ぶミスコンテスト、学生サークル・部活動が行うライブや模擬店など様々なイベントでキャンパスが賑わいます。また、秋田大学卒業生を対象にした「秋田大学ホームカミングデー」も同時開催し、卒業生の憩いの場となっています。

AUTUMN

〈秋の紅葉〉
毎年10月末頃キャンパスが色づきはじめます。また、秋田県内には仙北市の抱き返り溪谷をはじめとする、様々な紅葉の名所がありますので、ぜひひと足伸ばしてみてください。

抱き返り溪谷
ひと足伸ばして

3 MARCH	2 FEBRUARY	1 JANUARY	12 DECEMBER	11 NOVEMBER	10 OCTOBER	9 SEPTEMBER	8 AUGUST	7 JULY	6 JUNE	5 MAY	4 APRIL
---------	------------	-----------	-------------	-------------	------------	-------------	----------	--------	--------	-------	---------

●卒業式

学部と大学院の卒業生が社会への第一歩を踏み出します。式の終了後、会場の外では、卒業生がサークルの後輩や保護者などから祝福を受け、記念撮影や胴上げを行います。

●イルミネーション

街づくりの一環として夜の学園街を生き生きとした魅力的な場に変え、学生だけではなく地域住民の方々にも秋田大学に親しんでもらえるようにとの願いを込め、イルミネーションの点灯を実施しています。冬の夜を明るく照らすイルミネーションで手形キャンパスは幻想的な雰囲気になります。

●秋田大学地域交流朝市

秋田大学と連携協定を締結している自治体の特産品販売、学生サークル・部活動の催しなどを通じて大学の近くにお住まいの方々が気軽に大学を訪れる機会とすることや、参加自治体の理解促進や特産品の販路拡大につなげることを目的に開催しています。当日は朝から地域の方々で賑わいます。

WINTER

〈なまはげ柴灯まつり〉
男鹿市北浦の真山神社で行われる男鹿の冬を代表する冬祭りとして、毎年2月の第2金・土・日曜日の3日間開催される「みちのく五大雪まつり」の一つです。この祭りは神事「柴灯祭(さいとうさい)」と民俗行事「なまはげ」を組み合わせた冬の観光行事で、真山神社境内に焚き上げられた柴灯火のもとで練り広げられる男鹿で迫力あるなまはげの乱舞は見る人を魅了します。

〈横手のかまくら〉

「かまくら」は、水神様を祀る横手市の小正月行事です。「はいつてたんせ(かまくらに入ってください)」「おがんでんせ(水神様を拜んでください)」と子供たちが中から声を掛け、甘酒やおもちがふるまわれます。

●全学駅伝競走大会

学生同士や、学生と教職員、一般市民団体との交流を深め、スポーツ精神を養うことも目的に、例年男女合わせて30チームほどが健脚を競っています。応援も含めて秋田大学全体が熱狂する伝統行事です。

秋大キャンパスライフ



●子ども見学デー

毎年夏休みに、小学生とその保護者の方を対象にした「秋田大学子ども見学デー」を実施しています。普段なかなか見る機会のない研究室や実験室、図書館などを見学できるほか、楽しくワクワクする体験を学生・教職員たちが準備して皆さんをお待ちしています。

秋田大学では、1年を通して様々なイベントが行われます。地域に根差した秋田大学ならではのものや、学生主導で行われるもののほか、ここに掲載していないイベントもありますので、楽しみにしてください。また、秋田県内にも四季折々の行事や豊かな自然を感じる観光名所がもりだくさんです。秋大キャンパスで過ごすかけがえのない日々が充実したものとなるよう、積極的に参加してみてください。



●東北地区大学体育大会

5～11月にかけて行われる東北地区の国・公・私立大学による体育大会で、様々な競技が行われます。



●入学式

学部と大学院の新生が一堂に会し、入学式を行います。式の終了後、会場の外では学生サークル・部活動の先輩たちが新生の勧誘を行い、賑わいます。

9 SEPTEMBER	8 AUGUST	7 JULY	6 JUNE	5 MAY	4 APRIL
-------------	----------	--------	--------	-------	---------

SUMMER

〈秋田竿燈まつり〉
国の重要無形民俗文化財に指定されている東北三大祭りの一つで、例年270本以上の竿燈が出陣し、期間中の来場者数も約130万人を数える。秋田の夏を代表する行事として親しまれています。秋田大学教職員らで構成する秋田大学竿燈会も昭和46年の初出場以来、連続出場しています。

●オープンキャンパス

手形・本道の両キャンパスを舞台に、各学部の説明会や模擬授業、秋大生による研究室紹介など、秋田大学での学びの魅力を伝えるオープンキャンパスを毎年開催しています。秋大生によるキャンパスツアーや学生サークルの活動紹介、学食体験なども併せて行い、来場者の皆さんへ秋田大学のキャンパスライフを実感していただいています。

●今日歩大会

男鹿半島の寒風山を午後9時に出発して、大学まで約40キロの道のりを走(踏)破するもので、例年学生・教職員及び一般市民など総勢500人ほどが参加して行われる、秋田大学の名物行事です。

〈全国花火競技会「大曲の花火」〉

毎年8月の第4土曜日に大曲市大曲で日本最高峰である全国花火競技大会が行われます。大会の目玉として盛り上がる「大会提供花火」はテーマに沿った音楽と花火で大勢の観客を魅了しています。また、日本で唯一の嵐花火競技会が行われ、色ついた煙が空に鮮やかな模様を描くのが見られるのも楽しみです。



SPRING

〈春の桜〉
毎年ゴールデンウィークの頃、キャンパスの桜が満開になります。また、秋田県内には仙北市角館にある松木内川堤のソメイヨシノや武家屋敷のシダレザクラをはじめとする、様々な桜の名所があります。皆さん、ぜひひと足伸ばして訪れてみてください。

共に創る。共に生きる。

大和ハウスグループは、グループシンボル「エンドレスハート」に お客様と私たちの永遠の絆と 私たちグループの連帯感を託しました。 人・街・暮らしの価値共創グループとして、 私たちは社会に新しい価値を築いてまいります。

大和リース株式会社 秋田支店
秋田市御所野元町 1-1-1 ☎010-1414
Tel: 018-892-7152 Fax: 018-892-7153
www.daiwalease.co.jp

あなたの笑顔が私の元気

■特別養護老人ホーム
「萬生苑」「楽しいわが家」「ふるさと矢島」「ふるさと学び舎」「花ごよみ」

■ケアハウス「楽しいわが家」

■特定ケアハウス
「ふるさと学び舎」「スマートライフ中通」

各施設には、ショートステイが併設されております

■単独型ショートステイ「いきいきASOKO」

■デイサービスセンター
「My!!ともだち」「ふるさと学び舎」「楽しいわが家」「てまり」

■グループホーム
「安心サポート本荘」「安心サポート矢島」「安心サポート仁賀保」

■中央保育園 ■白百合こども園

社会福祉法人 中央会

TEL 0184-24-3711 E-mail chuoukai@chokai.ne.jp
FAX 0184-22-3780 URL http://www.chuoukai.com

最近、親との会話が弾みます!

秋田県新報のウェブサイトが変わった!

新規会員はさきげ電子版の利用料初月無料!!

新聞購読料 + 324円(税込)

利用料は購読料(月ごめ3,035円)と一緒に支払います

秋田県新報 電子版

http://www.sakigake.jp/ さきげ

丁酉会は、秋田大学病院の患者、職員及び学生への便宜供与に関する事業を行うとともに、医学研究の奨励助成を行い、患者等の利便と医学振興に寄与します。

病院での生活を、もっと便利に、快適に

一般財団法人 丁酉会

保険調剤

ていゆうかい

丁酉会薬局

秋田大学病院前

秋田大学生協は 大学生を応援します

秋田大学生の学生生活を日常的にサポートするのが大学生協です!

各店舗の営業時間もここからチェック!

秋田大学生協

【秋田大学生協店舗】
手形食堂・本道食堂
コープ・パンコ・メディココ
キャリアステーション
生協本部・サポートセンター

秋田大学生協本部 TEL:018-832-7141

ともに世界へ

Harbor business / Warehousing business
International complex transportation service

秋田海陸運送
www.kairiku.co.jp

NEWS&TOPICS

ニュース&トピックス 2016.01. >>>2016.03.

JANUARY

おらほの暮らしの保健室 in 秋田大学

1月20日、地域貢献の取り組みの一つとして地域包括ケアシステムの一端を担う「おらほの暮らしの保健室 in 秋田大学」を、秋田大学医学部及び附属病院のある本道キャンパス内に開設しました。

「暮らしの保健室」は、隣接する附属病院の患者さんや地域の高齢者、子育て世代らに開放し、常駐する看護師や保健師などの専門職ボランティアや一般ボランティアが、病気や介護、育児などの相談

に無料で応じます。この施設は、イギリス各地にあるがん患者のための支援機関「マギーズ・キャンサー・ケアリング・センター」をモデルとしており、日本でもこの取り組みを参考に「暮らしの保健室」が各地に開設されています。国立大学では初の取り組みとなります。

開設に伴い実施した看板掲式では、伊藤宏医学系研究科長が患者さんや近隣住民のケア活動に活発に取り組み、地域貢献をしていきたいと思います。また、中村順子地域包括ケア・介護予防研修センター長は「受診後に立ち寄って気持ちを整理してもらったり、健康に関する場所。お茶を飲んで話を聞けるだけでもいい。悩みのある人が気軽に立ち寄れる場所にした」と話しました。

※おらは「秋田の方言で「私の住んでいるところ」の意



左から伊藤医学系研究科長、中村センター長、児玉保健学専攻長



本目調のテーブルやイス、低めの書棚を配置し、温かみのある雰囲気を出している保健室

秋田大学オフィシャルいぶりがっこ「いぶりがっこ」樽開け・製品化作業



協力農家の方々との記念撮影

秋田大学オフィシャルいぶりがっこ「いぶりがっこ」は、秋田大学生が秋田県横手市山内三又地区と協力して作成しているいぶりがっこ「秋田の伝統的な漬物、大根を燻して作るです。この活動は「いぶりがっこ」の作りや販売を通じて生産者の想いを感じ取り、特産品を用いて地域の良さを体験し、それを発信するために、いぶりがっこ「いぶりがっこ」の樽開け・製品化作業を行いました。山内地区は例年に比べて積雪量は少なかつたものの、厳しい寒さの中で7年目となります。商品名は山内地区の農家の方々、横手市の方々、そして学生が協力して「いぶりがっこ」を作ったという意味の「evaporated」と「いぶりがっこ」の「いぶりがっこ」をかけて「いぶりがっこ」と命名しました。

1月23日、教育文化学部医学部の学生計8名が「いぶりがっこ」の樽開け・製品化作業を行いました。山内地区は例年に比べて積雪量は少なかつたものの、厳しい寒さの中で7年目となります。商品名は山内地区の農家の方々、横手市の方々、そして学生が協力して「いぶりがっこ」を作ったという意味の「evaporated」と「いぶりがっこ」の「いぶりがっこ」をかけて「いぶりがっこ」と命名しました。

とひげ根を取った後、スライスされたいぶりがっこを丁寧にパックに詰めて真空化し、熱湯で滅菌処理を行う一連の作業を一日かけて体験しました。昼には、樽から取り出したばかりのいぶりがっこを試食会も行われ、その美味しさに学生たちが笑顔を見せる中、8月の種まきから始まった作業を思い返し、製品化までには生産者の多大な手間がかかっているということを実感していました。

秋田大学オフィシャルいぶりがっこ「いぶりがっこ」は秋田市内のスーパーマーケット「グランマー」をはじめとする株式会社タカヤナギ系列各店で販売しています。



取り出した「いぶりがっこ」の洗浄

樽開け作業

追悼

秋田大学オフィシャルいぶりがっこ「いぶりがっこ」の作り師匠で、いつも愛情たっぷりに学生たちへ指導くださった横手市農家の高橋登さんが平成27年12月25日に急逝されました。高橋さんにはいぶりがっこ作りだけではなく、過疎化が進む横手市山内三又地区の歴史や文化、農業のこころなど、大学ではなかなか学ぶことのできないことを学生たちにたくさん教えていただきました。大変お世話になりました。

話になりました。ここに謹んで哀悼の意を表します。高橋さんの遺志を継いで、ご子息の暁さんと奥様の篤子さんに引き続き指導いただきます。秋田大学では地域交流と学生のキャリア形成の面からいぶりがっこを取り組みを今後も続けてまいります。



FEBRUARY

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COCプラス)キックオフシンポジウム

秋田大学と秋田県立大学、秋田工業高等専門学校が協働で取り組む「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COCプラス)」の一環として、学生の地元定着促進を話し合う「キックオフシンポジウム」を2月6日、秋田市の文化会館で開催しました。このシンポジウムには学生や研究者、一般市民ら400人が参加。基調講演では石破茂地方創生担当大臣が「地(知)の拠点である大学など高等教育機関が行政や民間企業と連携し、地域創生の実現に向けた知恵を出してほしい」と呼び掛けました。

石破氏は講演の中で「秋田のことは、永田町や霞ヶ関ではなく、秋田の人たちが一番分かっている。地方の大学は行政、地域との結びつきが強い。地方創生の議論の中心であるべき」と強調。県内就職者への奨学金返還助成などについても触れ、「大学は、学生が地元で定着できるように、商工団体との連携を深めてほしい」と述べました。

石破氏の講演後、秋田県立大の小間篤学長をコーディネーターに、若者の地元定着をテーマにしたパネルディスカッションも行われました。佐竹敬久秋田県知事、三浦廣巳秋田商工会議所会頭、湊屋隆夫秋田銀行頭取、齊藤永吉北都銀行頭取の4氏が取り組みを紹介。4氏は「地域活性化のために大学の力が必要」「秋田には魅力ある企業が多い。商議所として今後には情報発信

に力を入れたい」「三浦氏、「秋田おらほ」の創設、インターンシップの充実などを通じて、学生に秋田の魅力を知ってもらいたい」「湊屋氏、「さくら」に魅力あふれる産産を創出し、地元企業と大学の連携を深めることが大切」と三浦氏とそれぞれの立場から提言を行いました。

秋田大学は今後、COCプラス大学事業責任大学として、参加校である秋田県立大、秋田工業高等専門学校とともに連携を深め、「秋田のために頑張ろう」という学生を一人でも多く増やし、これを通じて地域との絆を強くするために、▽地域への理解を深める秋田おらほの創出▽地元企業群と協力しての就業支援若者定着▽ふるさと秋田の魅力形成モデルづくりの各事業を積極的に展開することとしています。



政財界トップがそれぞれの立場から意見を述べた



「大学は知恵を」と訴える石破大臣



シンポジウムの最後に行われた秋田大学生サークルの演劇



参加した大学生からもパネリストに質問が相次いだ

MARCH

平成27年度学生自主プロジェクト成果発表会

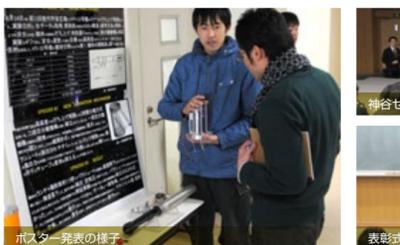


プロジェクトの説明をする学生

秋田大学大学院工学資源学研究所附属ものづくり創造工学センターでは、学生が自主的に考え活動するプロジェクトの支援活動を行っており、平成26年度から文部科学省特別経費プロジェクトとして推進しています。

「平成27年度学生自主プロジェクト」成果発表会が3月3日に開催され、15のプロジェクトが成果報告を行いました。ハイブリッドロボット打ち上げプロジェクト、シウダイエボプロジェクト、雪国秋田を彩るプロジェクト、雪国秋田を彩るプロジェクト、KAIXIAプロジェクトなど理工学部の学生が中心となった技術を活用するプロジェクトに加え、教育文化学部の学生が中心となり「あきたこもち」という製品群のためのプロジェクト、能代山本地域再生プロジェクト、米づくりプロジェクトなど、地域課題の解決を図ることを目的としたプロジェクトも報告を行いました。

その後、神谷修センター長による講演が行われ、「ものづくりは、大学で個々に学んだ学問をひとまとめにして活



ポスター発表の様子



表彰式の様子

秋田県厚生農業協同組合連合会

能代厚生医療センター、湖東厚生病院、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、雄勝中央病院

かつの厚生病院、北秋田市市民病院(指定管理)、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院

JA秋田厚生連 校舎

創業1964年

FCECO ファーネス化工機株式会社
FURNACE KAKOKI CO., LTD.

AL-FeC デュアルファーネス (アルフェックデュアルファーネス) ・アルミT-6処理、炭素鋼無酸化/ハイスピード熱処理に最適

ファーネス化工機株式会社

本社 〒220-0003 神奈川県横浜市西区楠町4-3
電話 (045)313-3061 FAX (045)314-3261
E-mail: fceco@cocoa.ocn.ne.jp

綾瀬工場 〒252-1125 神奈川県綾瀬市吉岡東1-16-13
電話 (0467)78-8761 FAX (0467)78-8763
E-mail: fceco@cocoa.ocn.ne.jp

DOWA が広げる 環境・リサイクルの「環」

熱処理、金属加工、電子材料、LED、製造

環境・リサイクル

DOWAホールディングス株式会社
http://www.dowa.co.jp

イベント&講座・講習会

Event, Seminar, Workshops & Extension course

催し物

秋田大学 鉱山絵図・絵巻 デジタルギャラリー公開記念 平成28年度 附属図書館・鉱業博物館企画展 「デジタル画像による鉱山再発見」

秋田大学所蔵の秋田と佐渡の鉱山絵図・絵巻を原本とデジタルギャラリーの高精細画像で鑑賞していただけます。

- 4月20日(水)～6月20日(月)9:00～16:00
- 鉱業博物館
- 入館料/ 大人100円、高校生以下無料
- ☎018-889-2461 (鉱業博物館)



ジョブ・フェア (企業合同説明会)

秋田大学の学生と秋田県内外79社とのマッチング機会として開催します。

- 4月24日(日)9:20～16:30
- 大会館1階食堂ホール
- 対象/ 学部4年次、大学院2年次、既卒3年以内の方
- 参加無料
- ☎018-889-2262(就職推進課)

秋田大学教育文化学部 天文台イベント

天文サイエンスカフェや大学教職員による天文講演会、45cm反射望遠鏡を使った夜間天体観察会を実施します。

- 5月7日(土)17:30～20:00
- 6月4日(土)18:00～20:30
- 7月2日(土)18:00～20:30
- 教育文化学部3号館3階301地学実験室ほか
- 対象/ 一般市民 (夜間観察会は中学生以下は保護者同伴)
- 参加費/ 夜間観察会は保険料1人50円
- ☎018-889-2655(教育文化学部地学研究室)

秋田大学地域交流朝市

秋田大学と連携協定を締結している自治体の特産品を、秋田大学の学生が地域の方々と一緒に販売します。

- 5月21日(土)8:00～10:30(売り切れ次第終了)
- 手形キャンパス インフォメーションセンター前広場
- 対象/ どなたでも
- 参加無料
- ☎018-889-3201(地方創生・研究推進課)

市民公開講座「がんと向き合うために～治療と暮らしを両立させるためのヒント～」

がんと向き合いながら、自分らしく暮らしていくために、就労支援の現状や経験談を通して、意見交換を行います。

- 6月26日(日)10:00～12:00
- 秋田拠点センターアルヴェ2階多目的ホール (秋田市東通仲町4番1号)
- 対象/ どなたでも
- 参加無料
- ☎018-884-6039(医事課医療サービス室)

オープンキャンパス2016

各学部についての説明や学食体験、在学生との交流企画などを予定しています。プログラムの詳細と申し込みについては、6月下旬に大学公式ホームページに掲載します。

- 7月30日(土)【手形キャンパス】9:00～16:00 【本道キャンパス】9:30～16:00
- 手形キャンパス、本道キャンパス
- 対象/ 高校生ほか
- 参加無料
- ☎018-889-2256(入試課)

第1回就職ガイダンス

就職活動に臨む学生に、これからの進め方について伝えるガイダンスです。

- 4月21日(木)16:10～17:40
- 一般教育棟2階203
- 対象/ 学部1～3年次、大学院1年次
- 参加無料
- ☎018-889-2262(就職推進課)

海外留学説明会

海外留学を考えている学生向けに、秋田大学交換留学制度の説明、協定校の紹介、先輩による交換留学体験発表のほか、短期留学及び官民協働留学支援制度の「トビタテ!留学JAPAN」について説明します。

- 5月11日(水)
- 中央図書館2階研修室
- 対象/ 学生
- ☎018-889-2258(国際課)

秋田大学みらい創造基金

ご協力をお願い申し上げます。

秋田大学は、多くの皆様からご協力いただいた「秋田大学教育研究支援基金」を引き継ぎ、平成26年11月に「秋田大学みらい創造基金」を創設いたしました。

この基金は、全学的な事業を支援する「一般基金」と、用途を特定した「特定基金」で構成され、現在、企業・団体や個人の皆様など多くの方々にご支援をいただいております。この基金は、教育・研究による社会への貢献という本学の使命を果たすための大きな支えとなっており、今後一層の拡充を図りながら、有効に活用させていただきます。

- 〈ご寄附のお願い〉 ●個人の方：-□ 1,000円
●法人の方：-□ 10,000円

この基金の趣旨をご理解いただき、なにとぞ複数回のご協力をお願いいたします。また、継続的なご寄附もお待ちしております。寄附者様のご都合に合わせた寄附方法・金額の設定が可能ですので、詳細は基金事務局へお問い合わせください。

〈ご寄附の方法〉

- 振込によるご寄附 ●クレジットカードによるご寄附
- 古本募金によるご寄附 ●遺贈によるご寄附

寄附のお申し込み、詳細につきましては、秋田大学公式ホームページをご覧ください。また、基金事務局までお問い合わせください。

一般基金

教育の質の向上及び研究の推進支援

- 1 横断的な教育・研究プロジェクトへの支援、次世代の研究を担う研究者の学際的・国際的な活動への支援、男女共同参画への支援等を行います。

卒業生・産業界等との連携支援

- 4 ホームカミングデー等同窓生が相互に連携できる活動を支援します。秋田大学の教育研究環境を活用し、多くの企業と共同で行う活動を支援します。

学生への奨学金等支援

- 2 学生、留学生への経済的支援、学生・団体への課外活動支援、教育文化学部附属学校園の活動支援を行います。

学部等への支援

- 5 学部・大学院等の教育研究の充実のため、機器、学術図書・雑誌等の充実・整備を図ります。

教職員・学生等の国際化・文化・社会活動等支援

- 3 秋田大学が持つ人的・物的資源を活用し、国際社会・地域社会で多様な形で実行される活動を支援します。

施設・環境整備の充実

- 6 教育研究環境をより発展的なものとするため、校舎や図書館、グラウンドなどの改修や整備を行い、キャンパス環境を充実させます。

特定基金

- ★ 病院寄附金
- ★ 教育文化学部寄附金
- ★ 理工学部寄附金
- ★ 国際資源学部寄附金
- ★ 医学部寄附金

〈お申し込み・お問い合わせ先〉

秋田大学みらい創造基金事務局
〒010-8502
秋田市手形学園町1番1号
☎018-889-3266(総務企画課内)
kikin@jimu.akita-u.ac.jp

秋田大学みらい創造基金は秋田大学公式ホームページからお申し込みいただけます。
(http://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed_fund/index.html)

秋田大学 みらい 検索

〈寄附者ご芳名〉この基金の趣旨にご賛同、ご協力いただきました皆様へ、心より感謝申し上げます。今後とも秋田大学の教育・研究活動等に対し、格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

<p>●株式会社秋田ケーブルテレビ 様</p> <p>●秋田県厚生農業協同組合連合会 様</p> <p>●秋田県高等学校PTA連合会 様</p>	<p>●秋田市役所路学会(秋田大学教育学部・教育文化学部同窓会) 様</p> <p>●秋田大学教育文化学部旭水会 様</p> <p>●秋田大学生活協同組合 様</p>	<p>●秋田大学有志一同 様</p> <p>●株式会社金園 様</p>				
<p>●秋山 典子 様</p> <p>●秋山 みどり 様</p> <p>●足立 房恵 様</p> <p>●飯野 健二 様</p> <p>●飯野 貴子 様</p> <p>●石井 範子 様</p> <p>●石川 栄子 様</p> <p>●石川 庄一 様</p> <p>●石川 慶紀 様</p> <p>●石松 剛 様</p> <p>●伊藤 真弓 様</p> <p>●伊藤 慶郎 様</p> <p>●井上 俊三 様</p>	<p>●上杉 澄江 様</p> <p>●内山 文子 様</p> <p>●内海 淳 様</p> <p>●大高 麻衣子 様</p> <p>●大場 由紀子 様</p> <p>●大平 芳久 様</p> <p>●小笠原 正剛 様</p> <p>●奥山 順子 様</p> <p>●小野 文 様</p> <p>●粕川 雄司 様</p> <p>●加藤 恵里子 様</p> <p>●金城 正浩 様</p> <p>●鎌田 善友 様</p>	<p>●神谷 修 様</p> <p>●喜多 隆三 様</p> <p>●木村 誠 様</p> <p>●工藤 由紀子 様</p> <p>●栗田 寿 様</p> <p>●小玉 恵子 様</p> <p>●兒玉 英也 様</p> <p>●小松田 敦 様</p> <p>●小山 崇 様</p> <p>●齊藤 英知 様</p> <p>●坂谷 慶子 様</p> <p>●佐々木 京子 様</p> <p>●佐々木 盛 様</p>	<p>●佐々木 務 様</p> <p>●佐々木 ひとみ 様</p> <p>●佐々木 真紀子 様</p> <p>●佐々木 良子 様</p> <p>●佐藤 昭 様</p> <p>●佐藤 一洋 様</p> <p>●佐藤 健一 様</p> <p>●佐藤 佐智子 様</p> <p>●佐藤 滋 様</p> <p>●佐藤 巧 様</p> <p>●佐藤 峰善 様</p> <p>●佐藤 祐一 様</p> <p>●佐藤 佑樹 様</p>	<p>●佐藤 和奏 様</p> <p>●佐野 正明 様</p> <p>●澤田 賢一 様</p> <p>●四反田 素幸 様</p> <p>●佐藤 健 様</p> <p>●柴谷 徹 様</p> <p>●澁谷 浩子 様</p> <p>●嶋岡 智子 様</p> <p>●島田 洋一 様</p> <p>●新保 麻衣 様</p> <p>●関 信輔 様</p> <p>●高橋 勉 様</p> <p>●高山 賢路 様</p>	<p>●巽 司 様</p> <p>●夢沼 賢太郎 様</p> <p>●田中 學 様</p> <p>●千葉 到 様</p> <p>●戸島 隆造 様</p> <p>●富谷 恵子 様</p> <p>●長井 俊秀 様</p> <p>●中村 美央 様</p> <p>●中村 由美子 様</p> <p>●名須川 泰策 様</p> <p>●新山 喜嗣 様</p> <p>●本田 耕平 様</p> <p>●真壁 伸 様</p>	<p>●松本 拳弥 様</p> <p>●三浦 廣巳 様</p> <p>●宮腰 尚久 様</p> <p>●茂木 睦仁 様</p> <p>●森屋 みゆき 様</p> <p>●山崎 正和 様</p> <p>●山田 晋 様</p> <p>●山田 楼子 様</p> <p>●山本 洋平 様</p> <p>●横山 洋之 様</p> <p>●米山 奈奈子 様</p> <p>●若狭 幸 様</p> <p>●渡邊 博之 様</p>

他 匿名希望 48名様、2団体様 (延べ数) (平成27年12月～平成28年3月末入金分 申込順)